

CHIKUMA
TORUKO
GIKYO

しあわせの予感に満ちた
極上のおくりもの

——— だから、千曲市のトルコギキョウ ———



特別な日にふさわしい千曲市のトルコギキョウ

長野県はトルコギキョウの出荷量全国1位。とりわけ、昭和20年代から栽培に取り組んでいる千曲市の力石地区は、技術力、生産力ともにトップクラスの実力を誇ります。なかでも、「トルコギキョウのイメージを一新した」と評判を呼び、国内外で人気を博しているのが、千曲市の育種家・中曽根健さんが開発した「コサージュ」シリーズです。

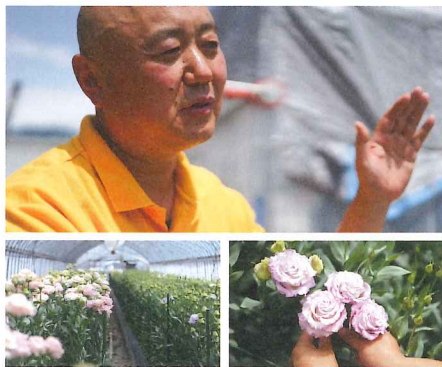
トルコギキョウは栽培に手間のかかる花だと言われますが、特に「コサージュ」は高い技術を要する品種。生産が許されるのは「コサージュ会」の会員だけに限定され、品質維持が図られています。

栽培に適した風土で、日本が誇る育種家とすぐれた技術を持つ

生産者が協力し、手塩にかけて育てられる特別な花。大切な人への贈り物や、忘れられない記念日にぴったりの最高のギフト。それが千曲市の最高級トルコギキョウです。

「コサージュ」シリーズ人気の秘訣は
絶妙な色彩、大振りな存在感、持続する美しさ

- ☑ 花卉のフリルが繊細で柔らか
- ☑ 独自の仕立てにより大型化を実現
- ☑ 八重品種ならではの華やかさ
- ☑ 枝が長く、使い勝手が良い
- ☑ カラーバリエーションが豊富
- ☑ 一輪に栄養を集中させて表情が豊か
- ☑ 花持ちの良さが圧倒的
- ☑ 花首が硬く垂れない



中曽根 健さん Nakasone Ken

1965年、千曲市(旧上山田町)力石の花卉農家に生まれる。本人いわく「絵描きみたいなことをしながらふらふらした6年間」を経て24歳で花の栽培と育種に取り組み、「コサージュ」シリーズを生み出した日本有数の育種家。平成25年度長野県園芸特産業関係功労賞受賞。特に好きな品種は「ジョーカー」「ラビンス」

まだ見ぬ感動を求めてチャレンジは続く

「コサージュ」シリーズの発表は2003年、完成までに10年以上を費やしました。

新品種を開発するために年間で200ほどの新しい掛け合わせを試みますが、最終的に販売に至るのは3~4種だけ。とにかくたくさんの組み合わせを試し、咲かせて、惹かれる何かが見つければそこに集中していきます。開発は一見すると無駄なことの繰り返しです。世に出ていないものを含めれば、数千種は開発したでしょうか。

自分なりの理想の色や形をめざして品種改良に取り組みますが、時に想像もしていなかったものが生まれ、それがロングセラーになることもあります。つくり手の予想を越える色だからこそ、目利きの

みなさんが気に入ってくださるのかもしれない。

「コサージュ」を生産できるのは「コサージュ会」のメンバーだけで、会員は現在、全国で140名ほど。世界中を見回しても日本の花卉栽培技術はかなり高く、特に手間のかかるトルコギキョウは圧倒的な差があると感じます。

今後は、形でいえばもっと立体感を出していきたいですし、淡い色を狙っていきたい。まだまだ新しい色合いは出せると思っています。

新品種の開発は夏から秋の暑い時期に行います。10月の種収穫にむけて種の生産も同時にやるのでなかなかキツイですが、頭に冷却シートを貼ってがんばりますよ(笑)

栽培意欲をかきたてられる唯一無二の魅力

中曽根さんの圃場で初めて「コサージュ」を見た時は、かなりのインパクトでした。フリンジのトルコギキョウは稀少でしたから、きれいなフリルと花の大きさに驚いたんです。

「コサージュ」は技術がないとつくりこなせない花なので、品種の特質や気象条件、地質の差などを踏まえて、肥料や水の与え方を工夫するなど試行錯誤を重ねています。

栽培期間は10月の種まきから6月の収穫までと長く、チャンスは年に1度です。新品種に挑戦する最初の年は、とにかくやってみるしかありません。といっても、気象条件は毎年変わりますから、今年うまくいっても来年も同じとは限らない。結

局、私たちは毎年が一年生みたいなもの。それだけに、「つくりこなせ!」と思えた年の満足感はたまりませんね。

中曽根さんは、見たこともない色を生み出せる人です。圃場に並ぶ新色の試作品を見ると、生産の難しさはわかっているけど、「いいなあ、つくってみたいなあ」と思ってしまう。

「コサージュ」は高価ですが、それだけに美しく、日持ちも抜群に良く、価格以上の満足感がある、と評価をいただいています。もっともっとたくさんの方に喜ばれるよう、開発者と生産者が同じ地域にいるメリットを活かして、これからも技術を磨いていきます。



宮原 洋一さん Miyabara Yoichi

1965年、千曲市(旧上山田町)力石の花卉農家に生まれる。脱サラ後、27歳で家業を継承。2003年の「コサージュ」誕生時から生産に携わる。「フラット」所属。「フロリアード2012」では「マーブルブルー」で5位入賞。好きな品種は「栽培はかなり難しいが色彩が絶妙な(アンティーク)」と「初めて見た時に衝撃を受けた(マンゴリー)」



千曲市役所 経済部 農林課 <http://www.city.chikuma.lg.jp/>

〒389-0897 長野県千曲市上山田温泉四丁目15番地1 TEL.026-273-1111 FAX.026-275-4579 ✉ norin@city.chikuma.nagano.jp